

令和4年3月17日  
高齢施策担当部高齢者支援課

## 地域ケア会議の実施結果概要

区では、地域ケア会議について地域包括支援センター担当区域単位で実施する「地域ケア個別会議」、「地域ケア予防会議」、「地域ケアセンター会議」と、日常生活圏域単位で実施する「地域ケア圏域会議」、区全域単位で実施する「地域ケア推進会議」を実施している。

令和3年度下半期は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部会議の延期・中止や書面開催等の対応を行った。

### 1 地域ケア個別会議

#### (1) 目的

個別ケースの検討を通じて、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握や地域包括支援ネットワークの構築を図る。

#### (2) 実施回数 ※25か所の地域包括支援センターで実施した数の合計

令和3年度下半期実績（2月までの実績値） 127回（対面開催）

#### (3) 主な参加者

本人、家族、地域住民、民生・児童委員、警察署、医師、医療機関相談員、担当の介護支援専門員、社会福祉協議会、司法書士、介護サービス事業所、障害サービス事業所、保健相談所、総合福祉事務所、生活支援員、地域包括支援センター 等

#### (4) 主な検討事項

- ・ コロナ禍における外出機会を増やすための検討
- ・ 独居高齢者の服薬支援について
- ・ 認知症と糖尿病を持つ高齢者と介護をしない娘への支援について
- ・ 樹木伐採の費用捻出が困難で、近隣宅に迷惑がかかっている高齢者への支援について
- ・ 成年後見人を付けたくないと希望する認知症高齢者への支援について

### 2 地域ケア予防会議

#### (1) 目的

多職種協働により個別ケースを検討し、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの実施を支援する。また、平成30年10月から、訪問介護の国が定める基準回数を超える生活援助サービスをケアプランに位置付けた場合、ケアマネジャーからケアプランの提出を受け、多職種で検証することとなった。これを受け、地域ケア予防会議において、提出されたケアプランの検証も行う。

#### (2) 実施回数

令和3年度下半期実績 25回（書面開催）

### (3) 主な参加者

理学療法士、作業療法士、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、主任介護支援専門員、担当の介護支援専門員、介護サービス事業所、地域包括支援センター 等

### (4) 主な検討事項

- ・通所サービス利用に対する、専門職によるリハビリメリットの確認について
- ・栄養補助食品が多様化する中における、食による栄養補給、体重増、および運動を取り入れた、目標の設定について
- ・骨粗しょう症のため、普段から予防の運動が必要な高齢者への対応について
- ・認知機能や生活機能が低下しないよう、介護する家族を促し、専門的なサービスにつなげる取組について

## 3 地域ケアセンター会議

### (1) 目的

地域ケア個別会議と地域ケア予防会議を通じて抽出された地域課題(コロナ禍における高齢者の生活支援、疾病に対する医療と介護サービスの連携等)について、その解決に向け、地域で暮らす・働く・活動する関係者で話し合う。

### (2) 実施回数

令和3年度下半期(2月までの実績値) 25回(3月実施予定のセンター3箇所うち書面開催3センター)

### (3) 主な参加者

民生・児童委員、町会・自治会、老人クラブ、訪問支援協力員、介護サービス事業所(ケアマネジャー含む)、医療機関、警察署、社会福祉協議会 等

### (4) 主な検討事例

①「コロナ禍におけるこれからの防災活動」をテーマに、新しい生活様式に沿った備えについて検討

(主なご意見等)

- ・コロナ禍での防災活動について、防災学習センターの講話が今後の役に立った。
- ・新たな生活様式の中、今後も地域全体で情報を共有し、災害対策の検討が必要。
- ・自宅での避難のあり方について、地域での支援が必要。
- ・地域の支援者は、まず自身の身を守ることを認識することの重要性を確認できた。

②「精神疾患を持つ息子がいる8050問題」をテーマに、当該高齢者の相談窓口・居場所について検討

(主なご意見等)

- ・関係機関の役割と連携について理解できた。
- ・相談窓口や居場所について、地域の社会資源の情報共有が不可欠。

③「地域包括支援センターと地域の居宅介護支援事業所との介護予防」をテーマに、地域作りについて検討

(主なご意見等)

- ・コロナ禍で、センターと地域のケアマネジャーが直接顔を合わせる機会が少なくな

っていたため、活発な意見交換ができた。今後も必要。

- ・認知症の高齢者が地域で活動できる場を増やすことが必要。

④「家族から学ぶ介護者支援」をテーマに、介護者の抱える負担や必要な支援について検討

(主なご意見等)

- ・男性介護者は、抱え込んでしまいがちであり、SOSの早期発見が必要。
- ・虐待事例にならないよう、男性介護者への支援の連携が必要。

⑤「認知症の人の気持ちを体験する」をテーマに、バーチャルリアリティ技術を使って認知症の理解について検討

(主なご意見等)

- ・認知症高齢者の立場になって言葉を発することの重要性が理解できた。
- ・認知症高齢者の目線になることが必要。

#### 4 地域ケア圏域会議

(1) 目的

地域ケアセンター会議で把握された地域課題を4つの圏域単位で協議する会議。地域の様々な関係機関で地域課題を共有し、それぞれの役割分担を整理し地域課題の解決を目指す。

(2) 実施について

いずれも、3月中、書面開催を予定。

(3)各圏域の開催予定日・テーマ・目的・主な参加予定者について

①練馬圏域

- ・テーマ：「8050 問題について」

地域包括支援センターや総合福祉事務所が支援に入るケースに親ひとり子ひとり世帯が多いことから、地域として理解および支援が進むよう、情報の共有等を図る。

- ・主な参加予定者：民生・児童委員、委員町会・老人会、介護サービス事業者  
地域包括支援センター、その他

②光が丘圏域

- ・テーマ「ひきこもりの子と同居する高齢世帯の課題について」

光が丘圏域の各センター会議の中で最も多かった「8050 問題」に焦点をあて、アンケートを通して問題の所在を把握し、地域課題を探る。

- ・主な参加予定者：民生・児童委員各地区会長、光が丘地区連合協議会会長、社会福祉協議会光が丘ボランティア・地域福祉推進コーナー、光が丘保健相談所、各地域包括支援センター

③石神井圏域

- ・テーマ：「8050 問題について」

地域包括支援センターや保健相談所、その他関係機関が抱える問題や直面している課題などを通して、それぞれの役割を理解しつつ、今後どのように支援しているかを考え、実践に活用できるようにする。

- ・主な参加予定者：生活サポートセンター、保健相談所、その他関係機関、地域包括支援センター

④大泉圏域

- ・テーマ「コロナ禍における高齢者の権利擁護について」

成年後見制度の利用促進の対応

- ・主な参加予定者：社会福祉協議会、民生児童委員、介護支援専門員、各地域包括支援センター